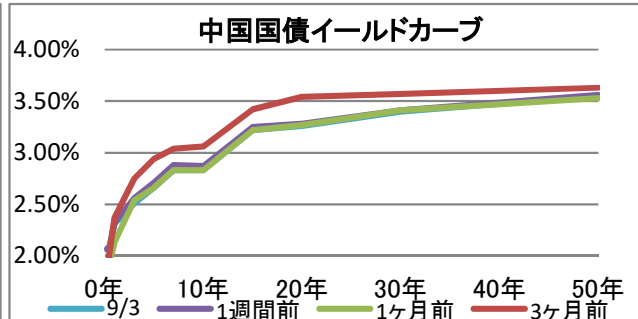
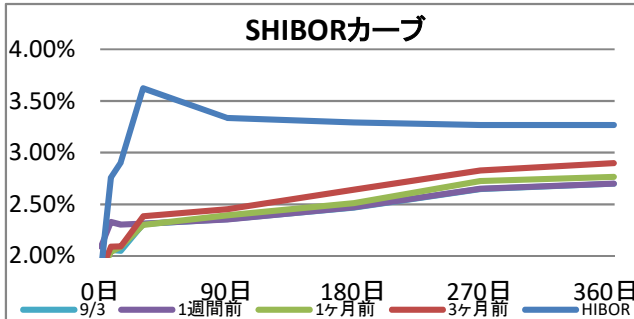


①市場概況

基準レート		2021/9/3	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4577	-0.0286
	JPY/CNY	5.8729	-0.0216
SHIBOR	3M	2.3560%	+0.0020%
国債利回り	10年	2.83%	-0.04%
上海総合指数		3,581.73	+59.57



(1) 概況

前週末のパウエルFRB議長講演による安堵も束の間、経済指標の悪化から弱気に転じる状況となったものの米雇用統計を控えて総じて小動きとなった。注目された米雇用統計は雇用者増加数が予想を大幅に下回る一方で賃金が予想を上回って上昇する強弱半ばする内容だったことからレイバーデー連休を控えて市場の反応は限定的となっている。

中国金融市場では、欧米との関係悪化懸念や政府の若年層のオンラインゲーム利用時間規制方針に加え、経済指標の悪化を受けて弱含みとなっていたものの、李克強首相の中小企業向け金融支援表明もあって、政府の政策への期待感が高まり、株式、債券ともに堅調に推移し、人民元も小幅高の展開。

中国では、六中全会の11月開催が決まり、教育や雇用の重視やオンラインゲーム規制強化等に関する方針が示され、金融市場についても前週の上海国際金融センター計画に続き、自由貿易試験区での人民元建ての商品先物市場の拡充、北京証券取引所の設立や資本市場の対外開放推進等の方針が示されている。

また、中国人民銀行は「中国金融安定報告(2021年)」を發布し、国内外の困難な状況下での改革開放、リスクの軽減と防止に対処してきたとし、2021年は第14次五ヶ年計画(十四五)の初年度であり中国共産党成立100周年の年でもあり、金融政策の連続性、安定性、持続可能性を維持しながら、改革開放、市場化、資本市場改革を進めるとしている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日1,700億元に対し、新規リバースオペ1,300億元を供給し、差額400億元を吸収している。

(3) 主な経済指標

・国家統計局のPMI(8月)は、製造業が50.1(7月50.4)、非製造業が47.5(同53.3)、総合で48.9(同52.4)と、新型コロナウイルス感染再拡大対応の影響を受けて大幅に悪化する結果となっている。

・財新のPMI(8月)は、製造業が49.2(7月50.3)、サービス業が46.7(同54.9)、総合で47.2(同53.1)と、2020年4月以来となる50割れとなった。国内外での新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、受注、生産、雇用が軒並み悪化している状況。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.9430%	1.9000%	1.9700%	
1W	2.0590%	2.2000%	1.8500%	
2W	2.0510%	2.0500%	2.3000%	
1M	2.3100%	2.4500%	2.2000%	2.2500%
3M	2.3560%	5.4000%	2.5500%	2.3400%
6M	2.4700%	3.2000%		2.5300%
9M	2.6480%			2.6000%
12M	2.6990%	4.0000%		2.6725%

中国人民銀行の資金供給により月末を乗り切り、月初の資金需給も安定し、四半期末となる今月末も追加の政策期待への期待から調達を急ぐ向きもなく、安定した状態が続いている。ターム物の出合いは引き続き1ヶ月(2.30%前後)を除き限定的。

NCDは、低金利状況の長期化への期待が強く、長めの期間を中心に活発な取引が続いている。ターム物の金利水準は9月に入っても大きな変化はなく、1ヶ月が2.25%前後に上昇した以外は、3ヶ月物は2.30%、6ヶ月が2.55%、1年が2.67%を中心に取引されている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	0.04%	0.05%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.08%	0.10%
3M	0.20%	0.23%
6M	0.28%	0.30%
12M	0.33%	0.35%

資金需給に大きな変化はなく、引き続きターム物は、1ヶ月0.10%、3ヶ月0.20%、6ヶ月0.30%前後が出合いの中心となっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.06%	2.12%	2.36%	2.45%	2.77%
6M	2.10%	2.15%	2.52%	2.59%	2.91%
1Y	2.31%	2.37%	2.63%	2.70%	3.04%
3Y	2.51%	2.74%	2.92%	3.04%	3.85%
5Y	2.66%	2.95%	3.33%	3.40%	4.30%
10Y	2.83%	3.18%	3.61%	3.72%	4.62%

債券市場では、パウエルFRB議長講演により早期利上げ懸念が解消されたことや月初の良好な資金需給と経済指標の悪化、さらに李克強首相が3,000億元の中小企業融資を表明したことから買いの強い展開となった。ただし、銀行理財商品規制強化対応要請の範囲が中小銀行にも拡大されており、銀行永久債等への影響が懸念されている。

イールドカーブは、利率債が低下、信用債では上昇する状況となる中でややフラットニングし、クレジットスプレッドは拡大に転じている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	28.6 / 28.6
1M	194.1 / 195.0
3M	464.0 / 468.0
6M	894.0 / 899.0
9M	1284.0 / 1286.0
12M	1668.0 / 1675.0

対ドル基準レートは、6.4577週末比-286pipsのドル安元高、対円基準レートは5.8729と同-216pipsの円安元高と、米国でのジャクソンホール会議（年次経済シンポジウム）を受けたドル安を反映した設定となっている。国内市場では国内景気悪化を示す経済指標が続き、長期的な米ドル高期待も強いものの、早期の米利上げに対する懸念が和らぎ、やや人民元高水準となる6.46を挟んだ小幅な値動きに終始している。

先物は、直物市場の値動きが限定的な状況と米ドル、人民元ともに金利水準に大きな変化のない状況が続いたものの、スワップ幅はじりじりと拡大し、1年物では1600台後半まで拡大している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.27%		2.06%
6M	2.28%	2.50%	2.08%
9M	2.29%	2.53%	2.09%
1Y	2.30%	2.57%	2.09%
3Y	2.46%	2.84%	2.33%
5Y	2.66%	3.10%	
7Y	2.79%	3.26%	
10Y	2.94%	3.43%	

債券利回りの低下によりスワップ金利も低下に転じたものの、引き続き小幅な値動きに終始。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも概ね横ばい推移となっている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。